

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム(3ヵ月訓練 215時間)

在宅介護業における教育訓練カリキュラム					
※ホームヘルパー取得Off-JT特化型				平成22年2月作成	
訓練科名(コース名)		介護サービス科 (3ヵ月コース)	訓練修了後の 関連職種	訪問介護サービス、通所介護サービス、訪問入浴サービス、施設介護サービス	
訓練目 標		職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、在宅介護業における社会福祉の対象及び介護保険の基礎知識を理解し、日常生活を営むことに支障のある方の生活自立を支援する介護業務に必要な知識と技能を習得する。			
仕 上 が り 像		日常生活を営むことに支援を必要としている高齢者や障害者に対して、生活自立を支援する基本的な介護業務ができる。			
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習 (OJT)	介護サービス実習	観察・記録・分析・報告、体位変換、清潔の介助(入浴・清拭・洗濯等)、更衣介助、身体の整容介助(洗面・口腔ケア・整髪・化粧等)、外出介助、コミュニケーション、環境整備(シーツ交換・身辺整理・清掃・環境調整)、家事(食事、洗濯、掃除)	39		資格取得まで職員同行(常時・施設内OJT訓練含む)
	車両サービス実習	車両管理、車両運行、送迎	4		同上
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、トラブル未然防止、道路交通法の遵守	各サービスに包含		
	OJT計 43.0時間				
学科 座学等 (Off-JT)	職業能力基礎講習	企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、ビジネスマナー、コミュニケーション(挨拶、言葉遣い)、チームワーク、社会福祉理念、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接客(荷だしのみ)、満足、CS(Customer Satisfaction:顧客満足)、ホスピタリティ	12		新規採用時研修同等
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全衛生、健康管理、救急法、メンタルヘルス	6		
	社会福祉と関連基礎知識	社会福祉概論(制度・サービス)、介護概論、ホームヘルプサービス概論、高齢者及び障害者の障害・疾病の理解、医学の基礎知識、介護保険の基礎知識、在宅介護の基礎知識、生活援助(家事援助、住宅・福祉用具に関する知識)	58	外部研修機関または社内研修	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)
	介護の基礎知識	相談援助とケア計画の作成と記録、報告、介護事例検討、リハビリテーション医療の基礎知識、基本介護技術の進め方、介護事例研究の進め方			
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10		
	学科計 86.0時間				
実技	安全衛生作業	緊急時の対応(心肺蘇生、AED操作方法)	14		
	介護技術Ⅰ(基礎実技)	共感的理解と基本的態度の形成、レクリエーション体験、基本介護技術(生活環境の整備(ペットメイキング等)、衣類着脱の介護、姿勢と体位交換の介助、身体の清潔介助、食事介助、排泄介助)、介護調理実習	42	外部研修機関または社内研修	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)
	介護技術Ⅱ(見学実習)	施設介護実習(2日間)、ホームヘルプサービス同行訪問(2日間)、在宅サービス提供現場見学(1日)、介護事例検討による演習	30	外部研修機関または社内研修	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)
	実技計 86.0時間				
		座学等(Off-JT)計 172.0時間			
		有期実習型訓練合計 215.0時間			
主要な設備機器、教材		調理実習場、介護実習場、入浴実習場、洗濯・乾燥室、トイレ設備、シャンプー台、調理台、入浴装置、電動ベット、車椅子、リフトチェア、ストレッチャー、実習用モデル人形、介護用具類、浴室用具類、寝具類、家事・調理用具類他			

資格取得者(ホームヘルパー2級)の場合

【活用事例1】カリキュラム(3ヵ月訓練 215時間)

※215時間(OJT:Off-JT=8:2=172時間:43時間~OJT:Off-JT=2:8=43時間:172時間)
8時間/日 → 約27日(215時間の勤務日数)

介護サービス科(3ヵ月コース)訓練カリキュラム					
※ホームヘルパー取得Off-JT特化型				平成22年2月作成	
訓練科名(コース名)		介護サービス科 (3ヵ月コース)	訓練修了後の 関連職種	訪問介護サービス、通所介護サービス、訪問入浴サービス、施設介護サービス	
訓練目標		職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、在宅介護業における社会福祉の対象及び介護保険の基礎知識を理解し、日常生活を営むことに支障のある方の生活自立を支援する介護業務に必要な知識と技能を習得する。			
仕上がり像		日常生活を営むことに支援を必要としている高齢者や障害者に対して、生活自立を支援する基本的な介護業務ができる。			
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	変更(時間数増加) 39→43	の本	備考
実習 (OJT)	介護サービス実習	観察・記録・分析・報告、体位変換・清潔の介助(入浴・清拭・洗髪等)、更衣介助、身体の整容介助(洗面・口腔ケア・整髪・化粧等)、外出介助、コミュニケーション、環境整備(シーツ交換・身辺整理・清掃・環境調整)、家事(食事、洗濯、掃除)	43	資格取得まで職員同行(常時)、施設内OJT訓練含む	
	教科削除(車両サービス実習)				
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、トラブル未然防止、道路	各サービスに包含		
学科	職業能力基礎講習	企業活動(事業領域、組織、経営理念、社風等)の理解、ビジネスマナー、コミュニケーション(挨拶、言葉遣い)、チームワーク、社会福祉概論、職業倫理、コンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(Customer Satisfaction:顧客満足))、ホスピタリティ	18	3.0時間	コミュニケーション向上のため外部研修機関活用
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、帳)、安全衛生、健康管理、救急法、メンタルヘルス	2	変更(時間数短縮) 6→2	
	社会福祉と関連基礎知識	社会福祉概論(制度・サービス)、介護概論、ホームヘルプサービス概論、高齢者及び障害者の障害・疾病の理解、医学の基礎知識、介護保険の基礎知識、在宅介護の基礎知識、生活援助(家事援助、住宅・福祉利用に関する知識)	58	外部研修機関または社内研修	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)
	介護の基礎知識	相談援助とケア計画の作成と記録・報告、介護事例検討、リハビリテーション医療の基礎知識、基本介護技術の進め方			
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10	能力評価は、10時間以内の設定です。	
		学科計	88.0時間		
実技	安全衛生作業	緊急時の対応(心肺蘇生、AED操作方法)	12	変更(時間数短縮) 14→12	
	介護技術Ⅰ(基礎実技)	共感的理解と基本的態度の形成、レクリエーション体験、基本介護技術(生活環境の整備(ペットメイキング等)、衣類着脱の介護、姿勢と体位交換の介助、身体の清潔介助、食事介助、排泄介助)、介護調理実習	42	外部研修機関または社内研修	変な時間数必須(社内実施の場合は必要時間数)
	介護技術Ⅱ(見学実習)	施設介護実習(2日間)、ホームヘルプサービス同行訪問(2日間)、在宅サービス提供現場見学(1日)、介護事例検討による演習	30	外部研修機関または社内研修	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)
		実技計	84.0時間		
		座学等(Off-JT)計	172.0時間		
		有期実習型訓練合計	215.0時間		
主要な設備機器、教材		調理実習場、介護実習場、入浴実習場、洗濯・乾燥室、トイレ設備、シャンプー台、調理台、入浴装置、電動ベット、車椅子、リフトチェア、ストレッチャー、実習用モデル人形、介護用具類、浴室用具類、寝具類、家事・調理用具類他			

6ヵ月間の訓練期間で最低の425時間で計画した場合

【活用事例2】カリキュラム(3ヵ月訓練 215時間)

資格取得者(ホームヘルパー2級)の場合

介護サービス科(3ヵ月コース)訓練カリキュラム						
平成22年2月作成						
訓練科名(コース名)		介護サービス科 (3ヵ月コース)	訓練修了後の 関連職種	訪問介護サービス、通所介護サービス、訪問入浴サービス、施設介護サービス		
訓練目標		職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、在宅介護業における社会福祉の対象及び介護保険の基礎知識を理解し、日常生活を営むことに支障のある方の生活自立を支援する介護業務に必要な知識と技能を習得する。				
仕上がり像		日常生活を営むことに支援を必要としている高齢者や障害者に対して、生活自立を支援する基本的な介護業務ができる。				
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
	実習(OJT)	介護サービス実習	観察・記録・分析・報告、体位変換、清潔の介助(入浴・清拭・洗髪等)、更衣介助、身体の整容介助(洗面・口腔ケア・整髪・化粧等)、外出介助、コミュニケーション、環境整備(シーツ交換・身辺整理・清掃・環境調整)、家事(食事・洗濯・掃除)	160		変更(時間数増加) 39→160
		車両サービス実習	車両管理、車両運行、送迎	12		変更(時間数増加) 4→12
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、トラブル未然防止、道路交通法の遵守		各サービスに包含	
				OJT計 172.0時間		
	学科	職業能力基礎講習	企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、ビジネスマナー、コミュニケーション(挨拶、言葉遣い)、チームワーク、社会福祉理念、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(Customer Satisfaction:顧客満足))、ホスピタリティ	12		新規採用時研修同等
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全衛生、健康管理、救急法、メンタルヘルス	9		変更(時間数増加) 6→9
		教科削除(社会福祉と関連基礎知識、介護の基礎知識)				
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10		
				学科計 31.0時間		
	実技	安全衛生作業	緊急時の対応(心肺蘇生、AED操作方法)	12		変更(時間数短縮) 14→12
教科削除(介護技術Ⅰ(基礎実技)、介護技術Ⅱ(見学実習))						
			実技計 12.0時間			
			座学等(Off-JT)計 43.0時間			
			有期実習型訓練合計 215.0時間			
主要な設備機器、教材		調理実習場、介護実習場、入浴実習場、洗濯・乾燥室、トイレ設備、シャンプー台、調理台、入浴装置、電動ベット、車椅子、リフトチェア、ストレッチャー、実習用モデル人形、介護用具類、浴室用具類、寝具類、家事・調理用具類他				

※215時間(OJT:Off-JT=8:2=172時間:43時間) 8時間/日 → 約27日(215時間の勤務日数)

【活用事例3】カリキュラム(6ヵ月訓練 425時間)

6ヵ月間の訓練期間で最低の425時間で計画した場合

在宅介護業における教育訓練カリキュラム						
※ホームヘルパー取得OJT特化型				平成22年2月作成		
訓練科名(コース名)		介護サービス実践科 (6ヵ月コース)	訓練修了後の 関連職種	訪問介護サービス、通所介護サービス、訪問入浴サービス、施設介護サービス		
訓練目標		職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、在宅介護業における社会福祉の対象及び介護保険の基礎知識を理解し、日常生活を営むことに支障のある方の生活自立を支援する介護業務に必要な知識と技能を習得する。				
仕上がり像		日常生活を営むことに支援を必要としている高齢者や障害者に対して、生活自立を支援する基本的な介護業務ができる。				
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名		職務又は教科の内容	変更(時間数増加) 39→230	考	
	実習(OJT)	介護サービス実習	観察・記録・分析・報告、体位変換、清潔の介助(入浴・清拭・洗髪等)、更衣介助、身体の整容介助(洗面・口腔ケア・整髪・化粧等)、外出介助、コミュニケーション、環境整備(シーツ交換・身辺整理・清掃・環境調整)、家事(食事、洗濯、掃除)	230	資格取得まで職員同行(常時)、施設内OJT訓練含む	
		車両サービス実習	車両管理、車両運行	25 変更(時間数増加) 4→25		同上
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、トラブル未然防止、道路交通法の遵守	各サービス実習に包含		
				OJT計	255.0時間	
	学科	職業能力基礎講習		企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、ビジネスマナー、コミュニケーション(挨拶、言葉遣い)、チームワーク、社会福祉理念、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(Customer Satisfaction:顧客満足))、ホスピタリティ	12	新規採用時研修同等
		安全衛生		S(5)整理、整頓、清掃、清潔、整)、安全衛生、健康管理、救急法、メンタルヘルス	6	
		社会福祉と関連基礎知識		社会福祉概論(制度、サービス)、介護概論、ホームヘルプサービス概論、高齢者及び障害者の障害・疾病の理解、医学の基礎知識、介護保険の基礎知識、在宅介護の基礎知識、生活援助(家事援助、住宅・福祉用具に関する知識)	58	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)
		介護の基礎知識		相談援助とケア計画の作成と記録・報告、介護事例検討、リハビリテーション医療の基礎知識、基本介護技術の進め方、介護事例研究の進め方		
		能力評価		オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10	
				学科計	86.0時間	
実技	安全衛生作業		緊急時の対応(心肺蘇生、AED操作方法)	12		
	介護技術Ⅰ(基礎実技)		共感的理解と基本的態度の形成、レクリエーション体験、基本介護技術(生活環境の整備(ペットメイキング等)、衣類着脱の介護、姿勢と体位交換の介助、身体の清潔介助、食事介助、排泄介助)、介護調理実習	42 変更(時間数短縮) 14→12	ホームヘルパー2級に必要な時間数(社内実施の場合は必要時間数)	
	介護技術Ⅱ(見学実習)		施設介護実習(2日間)、ホームヘルプサービス同行訪問(2日間)、在宅サービス提供現場見学(1日)、介護事例検討による演習	30	外部研修機関または社内研修(社内実施の場合は必要時間数)	
			実技計	84.0時間		
			座学等(Off-JT)計	170.0時間		
			有期実習型訓練合計	425.0時間		
主要な設備機器、教材		調理実習場、介護実習場、入浴実習場、洗濯・乾燥室、トイレ設備、シャンプー台、調理台、入浴装置、電動ベット、車椅子、リフトチェア、ストレッチャー、実習用モデル人形、介護用具類、浴室用具類、寝具類、家事・調理用具類他				